

# おいしいごはん鍋

### お釜のように直火炊き、 ガス火でふっくら美味しく。 Siセンサーコンロ自動炊飯機能対応。

アルミキャスト〈鋳造〉製で熱保有力に優れた特厚底。 熱ムラのない全面均一加熱でふつくら炊き。

鍋の内面は、お手入れしやすい 断面構造と特徴 デュポン社のふっ素樹脂 *テフロン*®プラチナ加工 超硬質セラミックダブル配合。 高密度3層構造ふっ素樹脂コーティング。



熱伝導の高い固くて緻密な結晶 - 徐々に熱保有力の高い大きな結晶 /一 ふっ素樹脂加工



熱をたっぷり蓄える特厚底 ー 特厚底から徐々に肉厚を変化

「テフロン」は、ふっ素樹脂についてのデュポン社の登録商標です。 ライセンスにより北陸アルミニウム 株式会社が使用しています。

| 品 番         |       | LP-0133             |
|-------------|-------|---------------------|
| 最大炊量(白米)    |       | 4合                  |
| 段までの深さ・満水容量 |       | 95mm∕3.1 ℓ          |
| 重 量         |       | 約1300g              |
| 材料の種類       |       | アルミニウム合金(底の厚さ3.0mm) |
| 表面加工        | 本体·内面 | テフロン゜プラチナ加工         |
|             | 本体·外面 | 耐熱塗装                |
|             | 蓋•内外面 | ふっ素樹脂塗膜加工           |

後洗いもとても簡単。

鍋(内側)の他、蓋の内・外面にも ふっ素樹脂加工を施しています から、こびりつきにくく、洗いも スムーズです。



### INDEX

おいしいごはんの炊き方 P3 取扱説明書 P13

五目炊き込み ごはん P5



あさりごはん



筍ごはん P7

青豆ごはん

小豆入り 雑穀ごはん

P10



栗ごはん











### おいしいごはん鍋

### 最大炊量

ごはん・・・・・・4合 炊き込みごはん・・3合 おかゆ・・・・・1合

\*お米1合は180mlです。 (お米用のカップ1)

| ごはん鍋 | の水位線           |
|------|----------------|
| おかゆ  | ごはん            |
|      | ┌⁴             |
| 1 —  | Εз             |
| 0.5  | <u>L</u> 2     |
|      | L <sub>1</sub> |

### お米と水の量の目安

### ごはん

| お米の量           | 水の量    |  |  |
|----------------|--------|--|--|
| 1合(150g·180ml) | 約300ml |  |  |
| 2合(300g·360ml) | 約480ml |  |  |
| 3合(450g·540ml) | 約670ml |  |  |
| 4合(600g·720ml) | 約930ml |  |  |

- \*炊き込みごはんの場合は、ごはんに比べ約 10%増の水の量(調味料、だしを含む)と し、具はお米の上にのせて炊いてください。
- \*お好みにあわせて、ごはんのかたさを水量で調節してください。(増減する水の量は ±10%程度までに)

#### おかゆ

| お米の量 | 水の量     |
|------|---------|
| 0.5合 | 約700ml  |
| 1.0合 | 約1000ml |

\*おかゆは七分がゆ程度の炊きあがりです。

### おいしいごはんの炊き方

### 洗米のコツ

ヌカを洗い落とす程度に手早く

最初の水は、ボウルなどにたっぷりためた水を一気に注ぎ、手早くかき混ぜてすぐに捨てます。ゆっくりすると、ヌカのにおいがお米に吸収されたり、色つやが悪くなったりします。最近のお米は精米度が高くきれいになっていますから、ゴシゴシカを入れる必要はありません。2、3回といでから、水を替えて数回洗い、ザルなどに上げて水気を切ります。

※お米をとぐ時は、鍋でとがないでください。表面加工を傷めます。

### 水に浸して吸水させます 30分から2時間

おいしいごはんを炊くのに大切なことは、お米にまんべんなく水を吸わせることです。水に浸さずザルに上げたままにしておいても吸水できます。この時は、お米が一粒一粒しつかりと炊き上がります。 冬など気温が低い時や、古米は吸水時間を長めにしてください。

### 水かげん

新米・・・・・・5%程少なめ 無洗米・・・・・5%程多め 古米・・・・・10%程多め 玄米・・・・・15%程多め 炊き込みごはん・・・・・10%程多め(調味料、だしを含めて)

水かげんは吸水量のちがい、米質のちがい、またご家庭の好みによって異なりますから、P3の表をもとにして、水の量を調整してください。また、少ない量を炊く場合には、蒸発量が多くなりますので、水の量を少し多めにしてください。

### 炊き方

- 1.鍋をセットし、中火から強めの中火で10分程火にかけます。
- 2.沸騰したら、沸騰が続く程度に火を弱め2~3分火にかけておきます。
- 3.さらに弱火で10~12分程加熱し、最後に10秒程強火にして火を止めます。
- 4.10~15分程蒸らしてから蓋を開け、ごはん全体をほぐします。



自動炊飯機能搭載の Siセンサーコンロなら スイッチひとつでラクラク炊飯!



自動炊飯機能のあるSiセンサーコンロで炊飯する場合は、コンロに「おいしいごはん鍋」をセットして、スイッチを押すだけ。あとはコンロが自動的に火力を調整してごはんを炊き上げます。火加減も炊き上がり時間も全て自動。30分程で美味しく炊き上がります。

#### 自動炊飯機能でごはんを炊くときは

- 1 浸水させたお米と分量の水が入った鍋に蓋をして、 ごとくの中央に、安定するようにセットします。
- ※温度センサーの上面や鍋底に異物がないことを確認し、鍋底の中心が温度センサーと密着するように正しく置いてください。
- 2点火後すぐに自動炊飯モードを選択し、炊飯 をスタートします。(機種により点火前に機 能選択できるものもあります。)
- 3炊きあがると自動的に消火します。
- ※途中で蓋を開けたり、水を足したり しないでください。うまく炊けない 場合があります。
- ※コンロの取扱説明書をよくご確認の上、ご使用ください。

3

### 五目 炊き込みごはん



#### 

### 作り方

- 1.米は炊く30分前(冬場は1~2時間前)に洗ってざるにあげておく。
- 2.鶏肉は小さめのひと口大に切り、薄口しょうゆ・酒(分量外)少々をまぶしておく。にんじんは3cm長さの細切りに、干ししいたけは、水でもどして薄切りに、ごぼうはささがきにする。
- 3.こんにゃくは細切りにし、熱湯でさっとゆで、水気を切る。油揚げは、熱湯をまわしかけ油抜きをし、細切りにする。
- 4.鍋に米、(A)を入れ、混ぜ合わせる。その上に 材料をすべてのせ、炊飯する。
- \* 炊き方はP4をご参照ください。

### 材料 (4人分)

みりん・・・・・大さじ1

### 作り方

- 1.米は炊く30分前(冬場は1~2時間前)に洗ってざるにあげておく。
- 2. 殻付きあさりは砂抜きをし、殻をこすり合わせて洗っておく。
- 3.しょうがは皮をむき薄切りを3枚、残りを針しょうがにする。あさつきは小口切りにする。
- 5.炊きあがったら、薄切りしょうがを取り出し、針しょうがを入れて、混ぜ合わせる。
- 6.器に盛り、あさつきを散らす。
  - \* 炊き方はP4をご参照ください。

### あさりごはん



## 筍ごはん



### 

### 作り方

- 1.米は炊く30分前(冬場は1~2時間前)に洗って ざるにあげておく。
- 2.ゆで筍の穂先部分は縦半分に切ってから、縦 の薄切りに。中央部分や根本部分は薄い短冊 切りにする。
- 3.油揚げは、熱湯をまわしかけ油抜きをし、細切りにする。
- 4.鍋に米、(A)を入れ、混ぜ合わせる。その上に 材料をすべてのせ炊飯する。
- \* 炊き方はP4をご参照ください。

### 材料 (4人分)

米・・・・・・20個 ボ・・・3・1/2カップ 黒ごま・・・・・適量 塩・・・・・小さじ1/3 酒・・・・大さじ1 みりん・・・・大さじ1

### 作り方

- 1.米は炊く30分前(冬場は1~2時間前)に洗ってざるにあげておく。
- 2.鍋に米、(A)を入れ、混ぜ合わせる。その上に むき栗をのせ、炊飯する。
- 3.器に盛り、黒ごまを散らす。
- \* 殻つき栗を使用する場合の下準備 1.栗を10分程煮る。 2.あら熱を取り、鬼皮と渋皮をむく。 3.よく水にさらしアクを抜く。
- \* 炊き方はP4をご参照ください。

### 栗ごはん



# 青豆ごはん



### 材料 (4人分)

米 ······200g 水 · · · 3·1/2カップ だし昆布 · · · · · · 適宜 塩 · · · · · · 小さじ1/3 酒 · · · · · 大さじ1

### 作り方

- 1.米は炊く30分前(冬場は1~2時間前)に洗っ てざるにあげておく。
- 2.鍋に米、(A)を入れ、混ぜ合わせる。その上に 青豆とだし昆布をのせ、炊飯する。
- 3.炊き上がったら、だし昆布を取り出し蒸らす。
- \* 炊き方はP4をご参照ください。

### 材料(4人分)

水+小豆のゆで汁 お好みの雑穀・・・大さじ4 ・・・・・・3・2/3カップ

### 作り方

- 1.小豆は10分程下ゆでし、ざるに取る。ゆで汁 はあら熱をとっておく。
- 2.米は炊く30分前(冬場は1~2時間前)に洗っ てざるにあげておく。
- 3.鍋に米、水と小豆のゆで汁を入れる。
- 4.(3)に雑穀を入れ、軽く混ぜ合わせ炊飯する。
- \* 炊き方はP4をご参照ください。

# 小豆入り 雑穀ごはん



## 玄米



### 材料 (4人分)

### 作り方

- 1.玄米は洗って分量の水に一晩浸けておく。
- 2.(1)の玄米と水を鍋に入れて中火にかける。
- 3.沸騰したら吹きこぼれない程度に火を弱めて5 分程火にかける。
- 4.さらに弱火で30~40分程加熱する。
- 5.火を止めて10~15分程蒸らす。
- \* 水の量は、ごはんの水位線より 約15%程多めがめやすです。

玄米の場合、Siセンサーコンロの自動炊飯機能は 使用しないでください。

材料 (4人分) 米 ・・・・・・・1合 水 ・・・・・・おかゆ1合の 水位まで \*水加減はP3を ご参照ください。 塩 ・・・・・・少々

食欲不振や、 夏バテぎみの時、 お好みに合わせて トッピング。

体にやさしい白がゆ。

### 作り方

- 1.米は炊く30分前(冬場は1~2時間前)に洗ってざるにあげておく。
- 2.鍋に米と水を入れて強めの中火にかける。
- 3.煮立ったら、木べらなどで底からひと混ぜし、弱 火で30分~40分程煮込む。
- 4.火を消して5分程蒸らし、塩で味を調える。

### 白がゆ



### なべ

このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。 この製品は、ご家庭での調理用ですが、電磁調理器(IHクッキングヒーター) ではご使用できません。正しく安全にご使用いただくために、この説明書 を必ずお読みいただき、必ず保管してください。

また、この製品には、家庭用品品質表示法に基づいた材質・容量等の表示が ありますので、あわせてご確認ください。

13

### 安全のために必ずお守りください

□取っ手が焦げますので、火力を調整してください。 ご使用時にはコンロの中央に置いて、炎が底面より大きくならな いように火力を調整してください。炎が底面よりはみ出したままで ご使用になりますと、取っ手が熱くなりやけどのおそれや、取っ手 が損傷し、脱落によるやけどなどの事故の原因にもなります。 また、2口以上のコンロをお使いの場合は、隣接するコンロの炎 が取っ手にあたらないよう、取っ手の向きにご注意ください。

〈火力の調整〉





□絶対に空炊きをしないでください。(すべての熱源) 空炊きをしますと、ふっ素樹脂塗膜が損傷したり、取っ手やつま みの損傷、本体の変形や溶解等によるやけどや火災の原因に なります。

なお、予熱をする場合は、加熱時間を1分以内にしてください。 長時間の予熱は空炊きになります。

#### お使いいただく前に

- □初めてご使用になる前に、ぐらつきやひび割れなどの不具合がない □調理中はそばを離れないでください。火災の原因になります。 ことをご確認ください。
- □本体にシールが貼ってある場合には、取っ手とふたの△マークシー ル以外をはがしてからご使用ください。はがしにくい場合は、除光液 □調理物の吹きこぼれによりガスの火を消す場合がありますので、 (マニキュア落とし)または市販のシールはがし液をご利用ください。 また、はがした後は、液が残らないようにしてください。

  - □品質には万全を期しておりますが、万一不具合があ とがありますので、安定した状態でご使用ください。 北陸アルミニウム株式会社にご相談ください。

#### Siセンサーコンロ(温度センサー付きガスコンロ)で お使いの際は必ずお守りください

- □自動炊飯機能をご使用の場合はコンロの取扱説 明書に従い、火力を調節してください。
  - Siセンサーコンロの自動炊飯機能をご使用の場合、炊飯中 は自動的に火力調節し、炊き上がると自動的に消火します。 機種により、はじめに炊飯に適した火力に調整する必要があ りますので、詳しくはコンロの取扱説明書をご確認ください。
- □温度センサーを正しく機能させるために、以下の 事項をお守りください。
- ・温度センサーの上面や鍋底に異物がないことを確認し、鍋底 の中心が温度センサーと密着するように正しく置いてください。 鍋底に焦げや汚れがある場合はきれいに落としてください。
- ・鍋底が変形した場合は使用しないでください。

〈温度センサーの状能〉





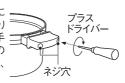


### 使用上ご注意いただきたいこと

- □調理中、調理後は取っ手やつまみが熱くなっている場合がありま すので、ご注意ください。
- 火加減にご注意ください。また、縁まで水等を満たした状態で使 用しないでください。
- □初めてご使用になる時は、内部をよく洗ってください。 □コンロにのせる時、のせ方や五徳の形状によっては転倒するこ
  - 上で使用されますと、調理物の入った本体の転倒、異 常過熱などによるやけどのおそれがあります。また、 長時間の連続使用となり、空炊きになりやすく、 本体や樹脂部品の損傷の原因となったり、 腐食や変色など製品の品質低下の 原因になります。

炊飯時は、蒸気孔などから、蒸気が 吹きこぼれ天板に飛び散る事があります。

- □金属製の調理器具ですので、電子レンジでは使用しないでください。 □取っ手が損傷する原因となりますので、オーブンで使用しないでくだ
- □加熱・冷却の繰り返しにより、ご使用中に・ ネジ止めされた取っ手がゆるむことがあり ます。そのままご使用になりますと、取っ手 二 がぐらついて脱落し、やけどなどの事故の おそれがあります。取っ手がゆるんだら、 図のように締め直してご使用ください。



900

油の量は深さの

- □樹脂製の取っ手やつまみが使用により劣化して、変色やふくれ、ひ び割れが生じることがあります。脱落によるやけどなどの事故のおそ れがありますので、ふくれ、やけこげ、ひび割れが生じた場合はご使用 にならないでください。
- □製品に変形や破損が生じた場合は使用しないでください。
- □天ぷらなどの揚げ物料理については、以下の点にご注意ください。
- ・縁まで油を満たした状態でのご使用は避けてください。 油に引火するおそれがあります。(めやすとして、油の 量は深さの半分くらいまでにしてください。)
- ・油温を200度以上に上昇させないでください。
- ・揚げ物調理に際しては、ふたをしないでください。油の 半分くらいまで 温度が異常に高くなり、発火するおそれがあります。
- □ふたには蒸気排出用の穴があります。噴出する蒸気でのやけどの危 険がありますので、蒸気排出用穴の位置をよくお確かめの上ご使用 ください。特に、手前や取っ手の方向に向けないようご注意ください。

#### 長くお使いいただくために

- □調理の内容および調理器具の大きさにより、火力の強弱を調節し てお使いください。また、強火で使用する場合は空炊きに十分ご注 意ください。なお、火力を中火以下でご使用になると、ふっ素樹脂塗 膜が長持ちします。
  - □金属製の調理用具をお使いの際は、角の丸いなめ らかなものをお使いください。なお、木や竹、プラスチ ック製等のものをご使用になりますと、よりいっそう長 くお使いいただけます。

- □本体の表面で材料を刻んだりしないでください。ふっ素樹脂塗 膜をキズつけます。
- □急激な衝撃を与えたり、熱した本体に冷水をかける等、急激な 温度変化を与えないでください。変形の原因となります。
- □酢等の酸性のものや、アク抜き用重曹等のアルカリ性のもの のご使用はなるべく避けてください。使用された場合は、変色や 腐食の原因になりますので、調理後速やかに中性洗剤で洗っ
- □ふっ素樹脂塗膜の損傷防止のため、鍋の中に料理を保存しな いでください。

### お手入れについて

- □お手入れには金属たわし、アルカリ性洗剤 (漂白剤や食器洗い 機用洗剤など)、クレンザーを使用しないでください。ふっ素樹 脂塗膜をキズつけます。スポンジに中性洗剤をつけてよく洗っ てください。洗った後は腐食防止のためによく乾燥させてくださ
- □こげついた場合、金属製の固いものでこすらないでください。 表面をキズつけ、腐食の原因となります。水やお湯に充分浸し て柔らかくした後で、中性洗剤を含ませたスポンジでていねいに お取りください。
- □食器洗い機での洗浄はしないでください。ご使用になる洗剤 (食器洗い機用洗剤、その他のアルカリ性洗剤)によっては腐 食や変色の原因になります。

#### その他ご注意いただきたい点について

□味噌汁を温め直す際には、強火で一気に加熱しないでく ださい。急に吹き出したり、飛び散ることがあります。中身を よくかきまぜてから温めてください。

〈お問い合わせ先〉

### 北陸アルミニウム株式会社

〒933-0393 富山県高岡市笹川2265 お客様和談室 TFL 0766-31-3501 [受付時間] 午前9:00~午後5:00 月曜~金曜日(祝日・弊社休業日を除きます。)

Made in China

14